

# とまこまい 市議会だより

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

第14回定例会を開催いたしました。

平成30年度一般・企業会計予算審査  
特別委員会を開催いたしました。

《平成30年2月23日(金)～3月16日(金)》



緑ヶ丘公園運動場がリニューアルされました



## 緑ヶ丘陸上競技場

全天候型トラックに改修された陸上競技場は、平成27年5月3日にオープンしました。市民マラソン大会をはじめ多くの市民が利用する施設となりました。

## 緑ヶ丘庭球場

全天候型コートに改修され平成28年8月28日にオープンしました。全道大会などテニスを楽しむ方全てに利用価値の高い施設となりました。



## 緑ヶ丘野球場

電光掲示板が設置され、平成28年4月29日に「とましんスタジアム」としてオープンしました。野球を楽しむ方々にとても好評です。



## 緑ヶ丘サッカー場

人工芝ピッチ1面が平成30年4月1日にプレオープンしました。2面目は30年度の工事となります。子どもから大人、男女問わず楽しめます。



TOMAKOMAI CITY  
COUNCIL NEWS

第22号

平成30年5月15日発行

検索は 苫小牧市議会

検索



PICKUP\_03

平成30年度企業・特別会計主要予算(抜粋)

○水道事業 17億1,659万7千円

管網整備、老朽管更新、水道施設耐震化、メーター取替工事など

○下水道事業

24億4,751万4千円

雨水管・汚水管整備、ポンプ場施設整備、下水処理センター長寿命化対策など



雨水管新設工事

○霊園事業 900万円

○公設地方卸売市場事業 994万8千円

○国民健康保険事業 722万9千円

プレ健診事業、特定健診受診者がん検診無料事業、重症化予防事業

○介護保険事業 200万円

生活支援サービス事業(多様なサービスを実施する団体への補助)

○市立病院事業

3億9,700万円

医療機器整備、看護学生に対する学資金貸与制度



更新時期が来たCT

PICKUP\_04

賛否の分かれた議案

議案第20号「苫小牧市後期高齢者医療特別会計」において各会派の賛否は右記のとおりでした。

下記に内容を掲載しますのでご一読ください。

会派名	緑 風	公明党 議員団	日本共産党 市議団	民主 クラブ	改革フォー ラム	会派市民	陽 春
可決	○	○	×	○	○	○	○
議員名	矢嶋 翼 岩田 典一 板谷 良久 竹田 秀泰 木村 司	藤田 広美 神山哲太郎 大西 厚子 池田 謙次 林 光仁	小野寺幸恵 渡辺 満 工藤 良一 富岡 隆	西野 茂樹 小山 征三 松尾 省勝 岩田 薫	越川 慶一 牧田 俊之 首藤 孝治 松井 雅宏	桜井 忠 谷川 芳一	金澤 俊 宇多 春美

(木村司議長は採決には加わりません)

PICKUP\_06

苫小牧市固定資産評価  
審査委員会委員の選任  
について

岡 聖 子 氏  
伊 藤 芳 一 氏  
佐 藤 修 氏

苫小牧市老人医療費助成条例の廃止について PICKUP\_05

苫小牧市老人医療費助成制度は、市の独自制度として国の高額療養費制度に上乗せする形で、入院時の自己負担額の軽減を図っておりましたが、世代間の公平や能力に応じた負担の観点から廃止となります。

※施行日は平成30年8月1日

※市民周知については、広報とまこまい・ホームページ・対象者に対する通知や医療機関、調剤薬局に掲示するポスターに周知文の貼り付けなどを予定しています。

議会改革検討会

議会基本条例策定に向け、引き続き議論をかさねています

議会改革検討会は、閉会中の2月19日と定例会中の3月16日の2回にわたり開催されました。前文については、正副議長案を基に、各会派に持ちかえり協議し、その結果、各会派の意見がまとまり文言整理することで固まりました。体系図についても、正副議長案が示され、それに基づき協議されました。

さらに、各会派で先進都市の議会基本条例を参考に全ての条文について、体系図と整合性を図りながら案を作成することになりました。

今後、各会派の案を整理し、理念型と呼ばれるシンプルな形で、かつ苫小牧らしい議会基本条例の策定に向けて、引き続き協議していくことになりました。

第14回 定例会概要

PICKUP\_01

定例会は、市長の市政方針及び教育長の教育行政執行方針に対し、7会派7名の議員による代表質問が行われ、財政健全化やIR(カジノを含む統合型リゾート)をはじめ、教育、福祉、介護、医療など多岐にわたり議論が展開されました。

一般会計 775億2,700万円  
特別会計 322億8,636万3千円  
企業会計 218億9,429万1千円

一般・企業会計予算審査特別委員会が設置され6日間の審議の結果、上記のとおり可決しました。



PICKUP\_02

平成30年度一般会計主要予算(抜粋)

○企業立地振興条例助成 2億1,189万6千円

企業誘致活動や立地企業への支援

○保育体制強化事業 2,484万円

保育士の負担軽減や労働環境の整備



求められる保育士の負担軽減

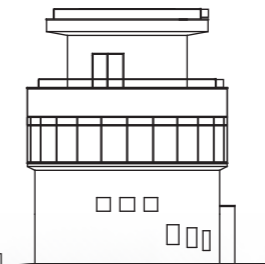
○就業支援事業 7,736万2千円

若い世代や女性等を中心とした雇用創出と離職防止のための対策を強化

○ウトナイ交流センター展望施設整備事業

1億8,295万1千円

集客力アップと地域活性化のため展望施設を整備



展望施設イメージ図

○ウトナイ中学校新築事業 24億2,595万5千円

○苫小牧東小学校及び苫小牧東中学校改築事業

6,362万4千円

老朽化した校舎や体育館改築のための実施設計など



苫小牧東小学校校舎

○沼ノ端交流センター整備事業 10億2,000万円

児童センターや市役所出張所機能を備えた複合施設

○まちなか再生総合プロジェクト事業 3,240万円

まちなか居住の支援やイベント開催支援



まちなかでのイベント

「常任委員会」

◆総務委員会

◆苦小牧市と京都市英館との協定書(案)を報告

富岡 隆 委員長

駒澤大学から京都市英館に移管することにより、苦小牧市と学校法人京都市英館との包括的連携に関する協定を締結することが報告されました。

各委員からの質疑では、京都市英館への移管に至った経過について、市と駒澤大学との事前協議がなされなかった問題を反省し、今後理事会決定前でも協議できる内容であれば可能な限り協議していくことが示されました。

駒澤大学に対する支援では、「従来の側面的支援を見直し、具体的に大学運営状況を把握しながら可能な限り関与して行きたいとの説明がありました。



駒澤大学から京都市英館へ

◆厚生委員会

◆「空き家」の今後におけるスケジュールが示されます

松尾 省勝 委員長

市内における「空き家」の状況は、現在1,082件であり、地域別の空き家数の分析では、西地域と中央地域に空き家が87・5%と集中しており、空き家数が一番多い町は、しらかば町61件、次いで、錦岡49件となつているとの調査報告がされました。

現状の課題として、空き家の把握は近隣住民からの連絡が大多数であることや、高齢化と人口減少、世帯人員の減少、相続放棄、法人破産による問題などが深刻化しているため、市は、有識者などの専門的な助言を求め、対策については、空き家をつくらない、放置させない、管理者不在空き家に対する取り組みを重点項目として、空き家等対策の計画を策定する考えを示し、平成30年12月頃には、計画が完成し、対策をさらに進めるとしています。



空き家

◆文教経済委員会

◆第五次生涯学習推進基本計画が策定されました

宇多 春美 委員長

地域未来投資促進法は国が同意し道が承認した地域公共団体の「地域経済牽引事業」の取り組みに予算・税制・金融・情報・規制の支援・特例措置するもので、市は基本計画における「地域の特性およびその活用戦略」を策定しました。

承認要件として、農水産・地域商社、物流関連、ものづくり関連、第4次産業革命、環境・エネルギー関連、観光関連の各分野とする。また高い付加価値を創出等が示されました。

第五次生涯学習推進基本計画が策定され「すべての世代が生き生きと活躍する学びの充実」を目指します。とくに、成人の学び直し、セカンドライフ世代、アウトリーチ推進、子育て・世代間交流、地域人材「人づくり」の課題、夜間中学「ななかまど」の若年層参加推進等の質疑が行われました。



第五次生涯学習推進基本計画

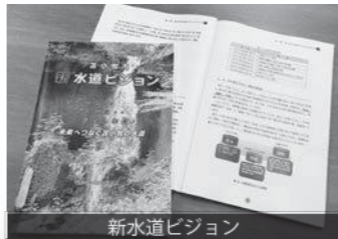
◆建設委員会

◆個人情報記載書類が紛失

越川 慶一 委員長

水道メーター検針等業務における個人情報記載書類の紛失について、38件の氏名、住所、メーター番号等が記載された書類が紛失したことに對し、受託者に厳重注意を行うとともに、改善策の徹底や個人情報の適切な取り扱いについて改めて強く指導することの説明を受け、今後の取り扱い等に対する質疑を行いました。

また、苦小牧市営住宅整備計画(案)については、住民説明やパブリックコメント及び建設委員会の意見を踏まえた内容に一部修正が加えられたことから、それらの内容を含めた質疑がありました。



新水道ビジョン

さらに、平成20年度から29年度までの水道ビジョンにおける実施状況や取り組み評価及び課題等がまとめられ、その内容については30年度からの「新水道ビジョン」に反映されていることの報告がありました。

「特別委員会」

◆総合開発特別委員会

◆IR構想の中間報告を提示

林 光仁 委員長

所管事項が8項目あり、それぞれ説明及び質疑が交わされました。苦小牧国際リゾート構想の中間報告については、各会派から活発な質疑がありました。内容としては、空港隣接の植苗地区を選定し、6つの基本コンセプトを掲げており、IRの効果としては、雇用機会の創出・IR建設運営、需要取り込みによる地元産業への貢献・納付金税収による経済効果が示されました。最終報告は6月議会に示され、その間市民セミナーも開催されます。



IRに関する市民セミナー

その他、航空機の部品落下事故や東部地域での「積雪寒冷地域における自動運転プロジェクト」及び国家石油備蓄基地の操業に係る操業受託事業者の変更について質疑されました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◆市民ホール建設にあたり、民間活力導入可能性調査を行う

岩田 薫 委員長

5項目の報告事項について説明があり、苦小牧市地域防災計画の修正案の質疑では、長期的な生活支援の制度化に向け今後、国や道と協議していくこととしました。また、仮説住宅の建設では、1万人を想定しているとの答弁がありました。

防災ハンドブックについては、リニューアルされたものが全世帯に配布されたことから、宣伝や周知を行うとともに、活用の実態についてアンケート調査を行うこととしました。



(仮称)市民ホール建設基本計画(案)について

ホール建設基本計画(案)については、1月に行ったパブリックコメントに、事業アイデアや、ホールの大さきなど10項目11人から意見が寄せられたことが報告されました。また、民間活力導入可能性調査を行い、整備手法を検討するとしてしました。

平成30年度一般会計 予算審査特別委員会

金澤 俊 委員長

平成30年度の予算については、市長の改選前にも関わらず、ほぼフル予算に近い計上となりました。

予算提案に対する各委員の質問は、延べ53人の委員が行い、合計570回を超える質問を行いました。議会費から歳入や債務負担行為、継続費に至るまでさまざまな議論がされましたが、私を感じた印象は、「財源を意識した質疑が以前よりも多かったのではないか」ということです。

少子高齢化と人口減少、これに伴う税収減を懸念し、これまでの歳出促進の提案だけでは、やはり限界があることを議会としてもより強く意識している表れなのだと思います。財源を踏まえた、より現実的な議論こそ、具体的な施策につながる第一歩に違いありません。

Table with 2 columns: 一般会計 (General Accounting) and 委員 (Committee Members). Lists names like 俊恵, 幸典, 哲太郎, etc.

平成30年度企業会計 予算審査特別委員会

西野 茂樹 委員長

特別会計では、国民健康保険事業・霊園事業・介護保険事業・後期高齢者医療、企業会計では、水道事業・下水道事業・市立病院事業・公設地方卸売市場事業の8会計の予算について審査されました。

質疑は、延べ47人の委員により行われ、全体で106点の質問項目となり、一問一答による質問回数は、603回でありました。また、この中で要望及び提案は、59件となりました。

今回の特別・企業会計の審査では、制度の見直しや、新たな施策を求める提案や改善要望の質疑では、予算の節区分にかかわるきめ細かな事業に対するものもあり、これまで以上に、予算の細部に及ぶ議論が交わされました。

Table with 2 columns: 企業会計 (Corporate Accounting) and 委員 (Committee Members). Lists names like 樹次, 秀久, 厚美, etc.

風 緑

政務活動報告

★天草市議会において、議会基本条例制定後の運用状況について調査しました。市の事業報告などを行う全員協議会については継続されておりませんが、その他議会報告会などが開催されていない状況であることがわかりました。議会基本条例は、継続性・実効性のあるものを制定しなければならぬと感じました。



矢嶋 翼 議員

久司 良久 板谷 典一 岩田 翼 竹田 秀泰

★苦小牧駒澤大学への支援策の質問に、教育ローン利子補給や奨学金返還支援に取組む。また、系列の京都看護大学サテライト校開設の情報もあると答弁がありました。

★新「市民ホール」建設・運営に民間活力導入の質問に、可能性を調査し、9月をめどに報告書をまとめると答弁がありました。

★教育理念として鹿児島に伝わる「負けるな・うそを言うな・弱い者をいじめぬるな」を見習うべきとの質問に、先人の教えを生かす事は重要であり研究したいと答弁がありました。

★秋田市参考の授業改善効果への質問に、学力テストの正答率は概ね全国平均であると答弁がありました。



岩田 典一 議員

★平成30年度予算で、児童虐待防止及びDV被害者保護活動について質問しました。私は、このことはまさに人権侵害であり、特に子どもの前でのDVは児童虐待とも位置づけられており、未来を担う子どもたちに大変な影響を及ぼすこととなります。DV被害者を支援することはその方の生活に大きく関わり、その子どもを救うこととなります。お一人でも多くの方の自立につながるよう支援を要望しました。

★庁舎改修工事について質問し、庁舎西側中央広場路面改修工事は、年度の早い段階で進めていく考えが示されました。



木村 司 議長

★第14回市議会定例会、22日間は終

了しました。今回の議会改革検討会では、議会基本条例について話し合われ、苦小牧市議会の決意を表現する前文を確認いたしました。また、各会派から意見を頂戴していた、骨格をなす体系図について正副議長案を提示させていただき、またご意見を伺いました。これまで定義されていなかった全員協議会は、議員間の自由な討論を規定するものであります。また、最高規範性、反問権、専門的知見の活用など今後も協議を続けていくことになりました。今後は、体系図に基づき全ての会派が各自の条文案を作成し議論を重ねて成文化していくことを確認しました。



竹田 秀泰 議員

★高丘浄水場管理棟改修について、新浄水場に見学者用の会議室や環境に合わせたデザインを検討できないかと質し、見学専用スペースや歴史ある資料を展示、環境に調和した建物を考えたいと答弁がありました。

★共同養塔の納骨の委託について質し、4月から12月までの毎週土曜日、9時から30分刻みの15時30分ま

でに最大12組の納骨に立ち会える柔軟に対応可能な業者に随意契約を行いたいと答弁がありました。



板谷 良久 議員

★市立病院助産師学資金助成について、助産師を目指す学生に対し月15万円の貸与とし、貸与期間の3倍の期間、勤務した場合は返還免除となりますと説明がありました。

★国民健康保険の財政運営が、市から北海道にかかわることから、市は糖尿病など生活習慣病の重症化を予防する取組みを強化していくことが明らかになりました。

★病院の診療報酬改定により、入院基本料の基準が変更されたことを受け、地域包括ケア病棟の効率的な運用が市立病院の経営において重要であることが明らかになりました。

★苦小牧国際リゾート構想案中間報告によると、IR（統合型リゾート）による市の税収は毎年30億円程度見込まれ、老朽化した科学センターや体育館の建て替えなど、市の裁量で使うことができる財源であることが明らかになりました。

公明党議員団

藤田 池田 美次 神林 山哲太郎 大西 厚子 光仁

代表質問等(抜粋)

【藤田 広美 議員】

代表質問でヘルプマーク・ヘルプカードの配布と普及を質問。4月以降は配布場所を拡大し、市独自のたまちヨッピーのデザインを活用したヘルプカードを作成すると答弁がありました。生活の手続きや制度をまとめた暮らしのガイドブックの全戸配布を質問。平成31年3月のリニューアルに合わせ広告収入を活用して市内全世帯への配布を予定していると答弁がありました。



【林 光仁 議員】

生保受給者に対するキャリアアカウンセラーについて、30年度増員すべきと質問。1名増員し就労支援員2名体制に強化すると答弁がありました。精神障害者保健福祉手帳は通所のみ路線バスの交通費が助成されているが、通院など社会参加を進めたいと助成をすべきと質問。助成額や対象者などさまざまな角度から検討したいと答弁がありました。



予算審査特別委員会等(抜粋)

【神山哲太郎 議員】

公務中の自動車事故について、リース車両の入れ替え時に安全配慮がされた車両を導入することやすべての職場で朝礼を励行し、交通安全意識の強化に取り組むべきと質問しました。

【神山哲太郎 議員】

養成講座を全職員にすべきと質問。全職員を対象に受講するよう取り組みたいと答弁がありました。

産婦健診について、北海道から実施に向けての通知があったと表明がありました。

【神山哲太郎 議員】

介護保険会計では、生活保護世帯の方々でも入所できる介護施設の情報発信と実態について質問。水道会計では、市民の皆様にご心配かけました個人情報紛失について、緊張感のなさを、仕事に対するマンネリ化を指

た。バックモ

ニターの導入を検討することや朝礼を活用した交通安全意識啓発のため、庁内に紹介していくと答弁がありました。

市営住宅旭町団地建て替えにおける移転先について、末広・高砂・若草団地へ移転すると旭町が人口減少となり、町内会の維持ができないとの声があるが、同町内で移転を進めると質問しました。民間住宅も活用し、なるべく近くで住み替えを進め、コミュニティを維持したいとの答弁がありました。



市営住宅旭町団地建て替えにおける移転先について、末広・高砂・若草団地へ移転すると旭町が人口減少となり、町内会の維持ができないとの声があるが、同町内で移転を進めると質問しました。民間住宅も活用し、なるべく近くで住み替えを進め、コミュニティを維持したいとの答弁がありました。

【池田 謙次 議員】

国保会計では、市民の皆様への負担軽減になるジェネリック薬品の推進について、介護保険会計では、生活保護世帯の方々でも入所できる介護施設の情報発信と実態について質問。水道会計では、市民の皆様にご心配かけました個人情報紛失について、緊張感のなさを、仕事に対するマンネリ化を指



【池田 謙次 議員】

介護保険会計で、住民主体の訪問型サービスマター事業の拡充のため、生活支援コーディネーターの早期拡充を求めました。

後期高齢者医療会計で、脳ドックの定員枠を拡大すべきと質問。30年度は、定員を20人増やし、定員70人で行うと答弁がありました。

水道事業会計では、樽前小学校の緊急貯水槽の早期整備について質問。「新水道ビジョン実施計画」で改めて検討すると答弁がありました。

【大西 厚子 議員】

国保会計の重症化予防事業で、減塩の取り組みとして塩分計測器の貸し出しを提案。通院者を保健指導につなげる特定健診のみなし健診の整備を求めました。



介護保険会計で、住民主体の訪問型サービスマター事業の拡充のため、生活支援コーディネーターの早期拡充を求めました。

後期高齢者医療会計で、脳ドックの定員枠を拡大すべきと質問。30年度は、定員を20人増やし、定員70人で行うと答弁がありました。

水道事業会計では、樽前小学校の緊急貯水槽の早期整備について質問。「新水道ビジョン実施計画」で改めて検討すると答弁がありました。

# 民主クラブ

代表 西野 茂樹・副代表 小山 征三  
幹事長 松尾 省勝・副幹事長 岩田 薫

★これまで何度も取り上げてきたIR誘致については、特に市民の理解が得られているかの点に対して、思い込みで判断するのではなく客観的な方法で行うべきと「住民投票の実施」を求めました。

岩倉市長は、住民投票を選択肢の一つとの認識を示し実施法案の動向を注視しつつ市のIR誘致の最終案の段階で判断したいと答え、住民投票の実施の可否を先送りしました。今後この点は追及していきたいと考えております。

★経営移管された駒澤大学の新たな学部の設置の必要性を求めました。


「京都育英館側は将来的には総合大学」との熱意をもっており、次の学部は文系を検討していると答弁がありました。

### 代表質問 (西野茂樹議員)

1 政治姿勢  
(1)財政基盤の強化について  
(2)IR誘致及び観光リゾートについて  
(3)JR北海道の路線見直しについて  
(4)核兵器禁止条約について  
(5)駒澤大学について

2 重点施策  
(1)子ども・子育て支援について  
(2)雇用対策について  
(3)災害に備えたまちづくりについて

3 主要施策  
(1)市立病院について  
(2)苫東開発について  
(3)公共交通について



西野 茂樹 議員

★町内会は、地域福祉や災害時の対応など活動が広がる中、「広報とまこまい配布委託料」は民間業者より低く、「住民組織活動助成交付金」は平成11年に5%削減されたままであり改善を求めました。


岩倉市長は、町内会のモチベーションを上げるため抜本的に支援を見直すことを示しました。

★平成10年に開始した「子どもSOSの家」事業は、これまで不審者などから子ども達を守るためにSOSステッカーを配布してきましたが、名簿管理をしていないことから空き家などにも貼られたままであること指摘。市側は、30年度に貼り付け世帯調査を行い意向の確認など情報管理し、ステッカーも刷新すると答弁がありました。

### 一般会計予算委員会の質疑

【質問項目】

- ・広報とまこまいの委託費について
- ・町内会活動助成交付金について
- ・育休代替職員の採用について
- ・子どもSOS事業について
- ・生活保護者の年金受給について
- ・その他 総括質疑



小山 征三 議員  
<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

★子どもたちと保護者の安心を

市内の放課後児童クラブでは、6年生まで継続して利用できることが浸透したことで保護者の安心と利用者の増加につながった事を評価した上で、臨時休校時の保護者送迎への条件緩和を求めました。

市側は、さまざまな課題に対応するため、市内5地区に分けエリアマネージャーを配置し、解決に向けた取り組みを進める考えを示しました。

★危険な交差点の排雪を求める


積雪が多い今冬は、特に生活道路の交差点付近は除雪によって、雪が大きく積み上げられ、それによる事故誘発の危険性を指摘しました。

市側は、危険箇所については、今後、継続的に安全確保のため、排雪を進める考えを示しました。

### 一般会計予算委員会の質疑

【質問項目】

- ・放課後児童クラブ・エリアマネージャーの配置について
- ・離職防止対策への取り組みについて
- ・観光PRの考え方と新たな取り組みについて
- ・歩道・自歩道の改修のあり方について
- ・生活道路の排雪について
- ・その他 5項目の質疑



松尾 省勝 議員  
<http://m-matsuo.jimdo.com/>

★国民健康保険事業では、平成30年4月からスタートする都道府県化により、加入者が新たな手続きが必要ないことと、職員の事務についても一部軽減されることとなりました。


★介護保険事業では、全国的にも大きな課題となっている介護に携わる人材が不足していることから、市として、「介護人材確保支援事業」を実施するとの答弁がありました。

★平成30年4月からスタートする新水道ビジョンでは、「いつでもどこでもおいしい水、未来へつなぐ苦小牧の水」を基本理念として事業を進め、昭和40年供用開始以来老朽化が進む高丘浄水場を、2022年度までに建て替えるとの答弁がありました。

### 企業会計予算委員会の質疑

【質問項目】

- ・国保の都道府県化による影響について
- ・介護人材の確保について
- ・後期高齢者の名称について
- ・新水道ビジョンについて
- ・下水道汚泥の処理について
- ・その他



岩田 薫 議員

# 日本共産党市議団

小野寺幸恵・渡辺 満隆  
工藤 良一・富岡 隆

### 代表質問

小野寺 幸恵 議員

市長は、IR誘致などで「若者が住みたくなり、住んでいる市民が良かったと実感できるまちづくりにチャレンジする」と述べていることから、「市民から共感を得るのは難しい」と指摘。一方で「中心市街地の活性化が全く進んでいないとの厳しい声がある」と、まちなかの活性化策に対する市長の姿勢をただしました。

景気・雇用対策として、30年度からの中小企業振興計画で小規模事業所の施策を強化しよう提案するとともに、無期転換制度(有期雇用で5年を超えて契約を繰り返した場合、本人の申し出で無期雇用)に転換させる制度)の市民周知を求めました。

また、平成14年から繰り返し提案していた地元大学の入学者を対象とした奨学金利子補給の実施について質問。31年度から実施するとともに、市内の企業に就職した場合は、奨学金の元金も支援をすることが明らかになりました。

さらに、駅北口の旧トモール解

体工事で、元請業者によるアスベスト飛散防止の法令違反について厳しく指摘し、市民の安全安心を求めました。

### 一般会計予算委員会

渡辺 満隆 議員

●公用車のリース契約について

公用車13台のリース契約を調査すると、ライトバン(A事業者)が13年間、軽自動車(B事業者)が11年間も連続して落札していることを指摘。担当部局は「公平性や透明性の観点から、入札仕様書を確認したい。また、公用車以外にも3年連続で同じ業者と契約しているケースが148件あり徹底したい。」と答弁しました。

●漁港区の違法建築物について

平成14年に指摘した漁港区の違法建築物について、漁組は昨年7月に是正計画書を策定しましたが、新たに7棟の違法建築物があることを市・港管理組合は黙認していたことを厳しく追及しました。

市長は陳謝し、早急に漁組・市・港管理組合の3者で協議し、是正計画書の履行を約束しました。

また、漁組が港管理組合に申請もせず21棟の違法建築物の使用をしていることを指摘し、時効になっていない5年間分の使用料(約70万円)を追徴することを提案しました。

### 企業・特別会計予算委員会

富岡 隆 議員

●介護支援センターの業務量が増えている実態から、職員の増員や7カ所体制から8カ所の体制にすることなどを提案し、検討がされてきた経緯から、30年度からの体制について質問しました。

担当部局は、包括支援センターの業務量調査を実施し、相談件数の増と相談1件あたり複数回・長時間化になっている実態から、1ヶ所あたり250万円の増額で、7カ所全体で1,750万円の予算増となりました。

●後期高齢者医療会計

30年度から保険料の特例軽減が廃止されることにより2,359名が影響を受け、年間最高12,900円も負担増になることが質疑で明らかになり、「6割を超える所得無し

の高齢者や所得の低い方からも保険料を徴収するひどい制度である」と指摘し、制度の廃止を求めました。

工藤 良一 議員

●霊園会計

30年度の墓園センター改修工事の具体的な進め方について質問し、腐食した下段部分の木レンガブロックを撤去して整地し、上段部分については今後順次検討することが示されました。

●公設地方卸売市場会計

青果棟の建物劣化調査をふまえた安全性について質問し、「修繕をしながら概ね15年は運用できる」との答弁でした。また、中卸業者が5社から3社になったことから、市場のコンパクト化と市民向けの機能構築について提案しました。担当部局は、「市民への一般開放や品質管理などについて検討したい」と答弁しました。

●水道会計

1月の寒波による水道凍結・破裂について質問し、シーズン全体では例年並みであり、水道凍結による水道会計への影響はなかったと回答がありました。

# 改革フォーラム

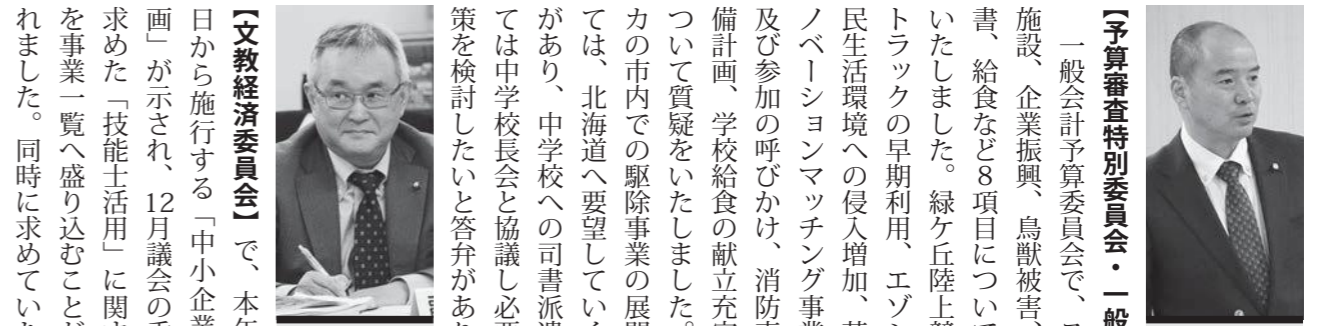
越川 慶一・牧田 俊之  
首藤 孝治・松井 雅宏



越川慶一 議員

【代表質問】①市制施行70周年の事業としてプロジェクトマネジメントを活用し、これまでの歩みとこれからの苦小牧を描くようなイベントの開催を提案②北海道4番目都市としての果たすべき役割に近隣自治体との連携強化及び今後の自治体クラウドの導入を提案③3月2日現在における統合型リゾートに対する会派の考え方は審議中の国会議論を注視するとともに具体的な法案が示された段階で、しかるべき時期に判断します。その上で現在議論されている制度や規制内容の確認及び昨年の予算委員会での付帯決議に対する事業費活用状況を検証④今後の市税収入の減少や社会保障費の増大など厳しい財政状況が見込まれる中、新たな財源確保策としてクラウドファンディング導入の可能性を提案⑤先進技術を導入する自治体も増えており今後の行政改革におけるICTやAI活用の可能性を提案⑥津波震災への備えとして海岸沿いへの計画的な総合防災無線の整備を提案⑦避難所となる東部小中学校9校にWi-Fi環

境が整備されることを受け市内全小中学校への計画的なWi-Fi環境整備を提案⑧道の駅ウトナイ湖に設置される展望台で天候に左右されることなく観光客が楽しめるVRの活用を提案⑨老朽化が進む総合体育館と日吉体育館を統合し総合アリーナとしての建設を提案⑩町内会活動の支援策として活動活性化条例の制定を提案⑪市民ホールは集客力のある核となる施設の設置を要望⑫苦小牧駅南口のバス停について誰もがわかりやすい案内表示を要望⑬生産性向上特別措置法案の制定を前提に補助金の補助率アップや優先採択などの特別措置が最大限受けられるよう中小企業の設備投資の後押しに繋がる対応を提案⑭学校給食は食育推進の観点からも内容量の早期改善を提案⑮わかりやすい授業に向けて小中学校へのタブレット端末導入による授業への活用を提案など、会派の考えを示しながら課題を提起し議論を展開しました。



松井雅宏 副議長

【用語解説】※プロジェクトマネジメント（建物などに映像を映し出す技術）※クラウドファンディング（インターネット経由などでの資金調達）※ICT（情報通信技術）※AI（人工知能）※Wi-Fi（パソコンやスマホなどを無線で接続する技術）※VR（感覚を刺激し理工学的に仮想現実を作り出す技術）



牧田俊之 議員

【予算審査特別委員会・一般会計】一般会計予算委員会、スポーツ施設、企業振興、鳥獣被害、学校図書、給食など8項目について質疑をいたしました。緑ヶ丘陸上競技場のトラックの早期利用、エゾシカの市民生活環境への侵入増加、苦小牧イノベーションマツチング事業の周知及び参加の呼びかけ、消防車両の整備計画、学校給食の献立充実などについて質疑をいたしました。エゾシカの市内での駆除事業の展開については、北海道へ要望していくと答弁があり、中学校への司書派遣については中学校長会と協議し必要な支援策を検討したいと答弁がありました。



首藤孝治 議員

【文教経済委員会】で、本年4月1日から施行する「中小企業振興計画」が示され、12月議会の委員会で求めた「技能士活用」に関する事項を事業一覧へ盛り込むことが報告されました。同時に求めていた「小規模

# 会派市民 | 桜井 忠・谷川 芳一



桜井 忠 議員



谷川芳一 議員

■代表質問  
1 政治姿勢について  
①立起について市政方針の時は明らかであるため、「新春の集い」を先にするべきだったのでは？  
②時間の分権から多選は控えるべきだが敢てもう一期するのはなぜか？ I Rや旧エガオの取り組みなのか？  
③基本構想にはない I Rが市政方針に記されているのは問題ないのか？  
④ I Rの入場料が2千円とのことだが、当初8千円と言っていたが？  
⑤入場回数は月10回とされたが、依存症対策にならないと思うが？  
2 基本政策  
(1)財政健全化について  
①健全化の認識は？  
②財政シミュレーションの認識は？  
③市営住宅建替えの認識は？  
④学校建替えが集中している、財政見直しは大丈夫か？東中の補助返還や起債償還はどのくらいあるのか？  
⑤公共施設建替えは少子化の中、後で大きな負担にならないように、今取組むべきだが市の認識はどうか？

⑥市立病院増築は財政に大きな負担を与える。財政指数に影響はあるか  
⑦法人市民税を見直すべき、企業誘致を進め税収増を図るべきと思う？  
3 予算編成について  
①骨格予算と言いつつ昨年より増額しており骨格予算と言えない。次の市長が政策にいくら使えるのか？  
4 重点施策  
(1)企業誘致について  
①新千歳空港全体の最終型を示すべきでないのか？  
②民営化への考え方、現在の進捗状況、今後のスケジュール、課題は？  
③北海道航空ネットワークビジョン案にある滑走路延長とは何か？  
(2)観光まちづくりについて  
①由緒など観光看板を設置しては？  
②世界標準のキャッシュレスに対応してはどうか？  
(3)子ども・子育て支援について  
①保育士確保はどうやるのか？  
5 主要施策  
(1)健康関連事業について  
①ワクチンを接種したのに癌になった人が大勢出ているが市の見解は？  
②ヒトパピローマウイルスに暴露されている人がワクチンを打つと前癌病変のリスクを上げるが中学生に指導できるのか？

# 陽 春 | 金澤 俊・宇多 春美

## 代表質問

金澤 俊 議員



今回、新会派「陽春」を結成して以来、初めての代表質問となりました。

陽春は、これまでの岩倉市政の取り組みについて、行革や財政健全化への取り組み、福祉・地域医療、教育に関するさまざまなチャレンジ、企業誘致や中小企業支援をはじめとする各種経済政策や災害対策などについて、高く評価するとともに、今後の更なる取り組み強化を求める提案も含めて質問をしました。

特に「男女平等参画社会の実現」については、組織機構改革を行い、より市の政策の中枢に位置付けられることになり、より具体的かつ有効な取り組みに期待を寄せています。

また、福祉や教育、防災等あらゆる分野で密接な連携を必要とする「地域」との関わり方が今後重要であることも明らかとなりました。

継続的で健全な市民生活を実現していくためには、財源確保も含め取り組むべき課題がまだ多くあると認識する次第です。

【予算審査特別委員会・一般会計】一般会計予算委員会、スポーツ施設、企業振興、鳥獣被害、学校図書、給食など8項目について質疑をいたしました。緑ヶ丘陸上競技場のトラックの早期利用、エゾシカの市民生活環境への侵入増加、苦小牧イノベーションマツチング事業の周知及び参加の呼びかけ、消防車両の整備計画、学校給食の献立充実などについて質疑をいたしました。エゾシカの市内での駆除事業の展開については、北海道へ要望していくと答弁があり、中学校への司書派遣については中学校長会と協議し必要な支援策を検討したいと答弁がありました。

【文教経済委員会】で、本年4月1日から施行する「中小企業振興計画」が示され、12月議会の委員会で求めた「技能士活用」に関する事項を事業一覧へ盛り込むことが報告されました。同時に求めていた「小規模



宇多 春美 議員

◎国民健康保険の薬剤の「重複・頻回受診」の影響は、多重投薬における健康面の問題、そして残薬による医療費増加。レセプトの審査を行う国民健康保険団体連合会と連携し、対象者に対する指導を丁寧に行うことを要望しました。

第2期データヘルス計画の健康意識の向上は、重症化予防事業も合わせ食事と運動面の指導が大切。地域包括ケアシステムの推進に資する事業として、地域の方も参加し楽しく学ぶ取り組みをする事を質しました。

◎第7期介護保険事業について3年間の事業が示されました。

医療と介護の連携は、とまこまい医療介護連携センターの他職種研修会の現場の充実を望みます。

社会福祉協議会・地域包括支援センターはそれぞれ委託した事業を地域住民の協力を得、実施すること。特に、認知症捜索模擬訓練は認知症サポーター、町内会、老人クラブ、事業所、そして高校生にも参加してもらい、地域づくりの事業にするよう質しました。

# 第3回議場コンサート



## 江差追分の旅

○2月議会の初日、石垣博士の江差追分が披露された。会場は200人の観客で一杯になりました。今日は江差追分の歴史の旅をしてみます。

○一説によると、モンゴルの馬を追う集団に荒涼とした砂漠を風が朗々と吹きすさぶような歌がある。

○やがてその中の1団が馬を連れて倭にやってくる、信州に拠を構え塩を日本海から江戸まで運ぶ。モンゴルの歌は信濃追分宿の馬子唄になる。

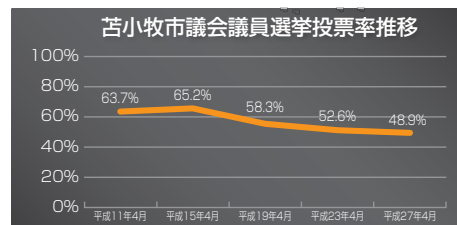
○歌は小諸馬子唄や馬方節など歌詞を変え広がっていく。越後追分が北前船に乗って北上し江差に到達する。モンゴルの草原を吹く風が、やがて滔々とした波の揺れになる。

○元歌は「江差三下り」に原形をとどめる。それが祝い唄の松坂謙良節を含んで「二上り」となって江差追分になった。モンゴルから馬と共に長い旅路である。

## 平成30年7月1日(日)は、苫小牧市長・市議補欠選挙投票日!

期日前投票所は6月25日(月)～30日(土)市内6か所で開設されます。

場 所	期 間	時 間
苫小牧市役所	6月25日(月) ～30日(土)	8時30分～20時
イオンモール苫小牧		9時～20時
豊川コミュニティセンター		
のぞみコミュニティセンター		
沼ノ端コミュニティセンター		
勇払出張所		



この選挙では、市長選に合わせて市議補欠選挙も行われます!

【理由】市議会定数28名に対して、現在2名欠員のため

・議員に欠員が生じても欠員数が一定数(定数の1/6)に達していない場合は補欠選挙を行いませんが、当該選挙と関係の深い他の選挙が行われるときは、これに便乗して補欠選挙が行われます。(公職選挙法113条)

## 議会日程のお知らせ

### ●第15回市議会定例会

※1回の傍聴につき50ポイント。  
(本会議のみに限ります)



月 日	内 容
6月 6日(水)	陳情締切り (17:00 まで)
6月 7日(木)	本 会 議 報告・一般質問
6月 8日(金) ～12日(火)	本 会 議 一般質問・議案等審議
6月13日(水)	常 任 委 員 会
6月14日(木)	特 別 委 員 会
6月15日(金)	議 会 改 革 検 討 会
	本 会 議 (議案等審議)

※6月7日から14日の開始時間は10時(予定)からになります。  
(ただし15日は未定です)

※日程などについては変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)  
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

## 編 集 後 記

今年には苫小牧市政70周年の節目の年ですが、ちょうど100年前、苫小牧村から苫小牧町になりました。王子製紙の進出や苫小牧港の開港など、この街に大きな影響を与えた事柄を改めて見直してみるいいチャンスです。歴史を重ねるほど地元愛が深まりますね。

とまこまい市議会だより  
編集委員 板谷 良久

## とまこまい市議会だより編集委員会

岩田 典一・神山哲太郎・板谷 良久・大西 厚子・工藤 良一  
岩田 薫・首藤 孝治・桜井 忠・宇多 春美